

## ⑱ 紙器・段ボール製造技術人材養成コース

日数	教科名	教科の内容	22日
1	開講式	訓練の意義	1
	社会人としての心構え	会社とは（学生との違い）、社会人としてのルールの遵守、社会人の基本 ～あいさつ、お辞儀の種類とポイント、身だしなみ	7
2 3 4 5	職業能力基礎講習	ビジネスマナー、敬語、名刺交換、電話対応、仕事の進め方、受命・報告・連絡・相談、コミュニケーションの重要性、ビジネス文書、ビジネスEメール、社内文書・社外文書	32
6	安全衛生	5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）、安全装置や保護具の用途と安全作業（安全点検、KY）、労働災害の防止、健康管理、リスクアセスメント	8
7	コンプライアンス	法令遵守、社内や社外の規範遵守、企業倫理や社会的規範、CSR（企業の社会的責任）の本質、内部統制とコーポレートガバナンス	8
8	紙業界	あゆみ、技術変遷、生産の流れ、業界の構図	8
9	製紙	あゆみ、製造方法、種類、紙の基本知識	8
10	紙器容器	加工方法、材料の種類と特性、紙器の特性・分類・形態、構造と機能	8
11	段ボール製造加工	種類、型式、実態、製造方法	8
12	木型製造	木型の製造方法、修理方法	8
13	貼箱製箱加工	型式、実態、製造方法	8
14	紙印刷	紙印刷の基本知識（印刷方法、原材料の種類と特性、印刷機の種類）	8
15	図面と製図	紙器容器図面の見かた、製図	8
16	段ボール箱製造加工	プリンターズロッタ・グルア・ライン、フレキシフォルダーグルア・ライン、フレキシプリンター・平盤打抜（プラテン）・ライン	8
17	貼箱製箱製造	打抜き済みの生地用板紙、くすみ用アート紙から被せ貼箱を製作	8
18	原価管理（紙器）	原価のしくみ（製造原価、売上高-総利益=利益、原価と費用の違い）、原価の分類（直接費と間接費、変動費と固定費、材料費・加工費の見積もり方、コストダウン 他	8
19	品質管理・品質保証	品質管理に関する基礎知識、品質保証に関する基礎知識、品質の維持管理に関する基礎知識（標準化・工程能力）、QC7つ道具に関する基礎知識、不良問題の解決・改善方法	8
20	TPM（設備保全）	TPMに関する基礎知識、設備保全に関する基礎知識（設備7大ロス・故障ゼロ化）、品質保全に関する基礎知識（PM分析）、個別改善活動（ロス低減）、小集団活動	8
21	トヨタ生産方式	ジャスト・イン・タイム（標準作業・平準化生産・かんぱん方式）、自動化に関する基礎知識（にんべんのある自動化）、製造ラインの個別改善手法（不良対策・ムダ取り）	8
22	自動化機械操作実習	教育用ハンドリングロボットシステムによる産業用ロボットの教示・操作方法、基本的な命令を使用したプログラミング方法の習得と実習	8
O f f - J T（教育訓練機関）小計			176 時間

